

02J. リーダーシップ力養成研修 ～部下のやる気と協力を引き出し、Win-Winの関係を築く！～

1. 研修要領

・募集定員	出島交流会館(確定)
・研修会場	富士通九州システムズ(FJQS) 講師: 徳永 智久
・講師	平成27年6月3日(水)～5日(金)
・開催月日	9:30～17:30(7時間/日)・3日間(21時間)
・実施時間・日数	78,800円
・受講料(税別)	5,000円
・教材料(税別)	

2. 対象者

- SE経験5年以上のリーダークラス
- 部下や後輩の指導・育成的立場にある方
- 自己のヒューマンスキルをより高めたい方

3. カリキュラムの概要

ITプロジェクトを円滑に進めるには、メンバーとの適切なコミュニケーションが重要です。また、プロジェクトメンバーのやる気を出させるためのモチベーションマネジメントも必要不可欠です。本コースでは、選択理論心理学をベースに「人のモチベーションと行動のメカニズム」を理解し、上質な部下育成のための効果的なマネジメント手法を学習します。同時に、手法に偏らず、人間として魅力のある、メンバーから信頼されるリーダーへと自ら変わることにより、より良い人間関係をつくり、部下のやる気と協力を引き出すことによって、ITプロジェクトの成功を図ります。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1. オリエンテーション	1.0	・研修の概要説明(目的・目標・進め方) ・自己目的の明確化
2. 体感ゲーム	3.0	・チームビルディングを促進するために重要なこと ・ITプロジェクトに求められるリーダーシップスタイル
3. 人の心理と行動原理	2.0	・基本的欲求 ・タイプ別コミュニケーション ・ITプロジェクト環境をデザインする
4. やる気と主体性を育む方法	2.0	・目的意識と仕事の成果の関係 ・仕事の達人の思考法 ・意味づけ力を鍛える ・1日目の振り返り及び質疑応答
5. 願望イメージの鮮明化	1.5	・理想のリーダー像を考える ・部下の成長に合わせた支援法 ・マンネリを打破するには
6. 変革推進力を高める	1.0	・自律を促進するための重要な考え方 ・ITプロジェクトを成功している人の思考法
7. 自律を促進するマネジメント	2.0	・自律を促進し、協力を引き出すリード・マネジメント ・自己リーダーシップの秘訣
8. OJTの効果を高める 真・報連相	2.5	・OJTの重要ポイントと真・報連相の関係 ・報連相は、なぜ必要か・・・ ・効果的な〇〇のための「3つの視点」 ・2日目の振り返り及び質疑応答
9. レベル表1度～3度の 重要事項の理解	1.5	・中間報告 ・上司の補佐 ・3つに分割する表現方法
10. 情報の共有化	1.5	・情報の共有化を深める3つの深度 ・情報によるマネジメント ・真報連相で人が育ち、仕事の成果が上がる理由
11. レベル表を活用した マネジメント力の強化	1.5	・レベル表1度～3度の重要事項の理解の続き ・レベル表4度～5度の必要事項の理解 ・ITプロジェクトへの展開方法を考える
12. 3日間のまとめ	1.5	・育成計画書作成 ・感想共有及びまとめ
計	21.0Hr	

5. 使用教材

- リーダーシップ力養成研修テキスト(キャリアイノベーション)

6. 到達目標

本コース終了後、次の事項ができることを目標としています。

- 1.部下育成とITプロジェクトの活性化について、モチベーションという観点から理解する。
- 2.リーダー自身が高いモチベーションを維持できるようになる。
- 3.ITプロジェクトを円滑に運営するためのスタンスを確立する。
- 4.部下やメンバーが自律型人材として成長するための、効果的な支援ができるようになる。
- 5.真・報連相を活用して、主体性と自己責任性のある、質の高い仕事の進め方について理解を深める。
- 6.メンバーの模範となるリーダーへと成長し、周囲からの信頼を高められるようになる。

7. レベル

ITSS:コンサルタント育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 3 - 4】

ITSS:プロジェクトマネジメント育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 3 - 4】

ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 3 - 4】

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 3 - 4】

ITSS:ITサービスマネジメント育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 3 - 4】

ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 3 - 4】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名